2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経営学（Business Administration） 2036-0-11-064					担当教員	栗井　英大 （クリイ　ヒデヒロ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	必修科目	単位 数	4	配当年次	１年次	開講期	前期②
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

①　授業のねらい・概要
本講義は、経営学の初学者が、経営学に関する基礎的な概念や知識を習得できるように組み立てている。企業経営の知見の中から、前半は、企業論、人的資源管理論、経営管理論・経営組織論を、後半は、経営戦略論、機能別戦略を中心に取り上げる。講義はマネジメント検定Ⅲ級の公式テキストに沿って進めるが、テキストの内容のみならず具体的な事例も取り上げつつ、経営学の基礎的な理論を可能な限り分かりやすく説明する。 本講義の目標は、企業論、経営戦略論、機能別戦略、人的資源管理論、経営管理論・経営組織論など、経営学に関する基礎的・専門的な用語・知識・理論を習得することである。 また、マネジメント検定Ⅲ級レベルの知識を習得することを目指す。
②　ディプロマ・ポリシーとの関連
２職業人として通用する能力／３専門的知識・技能を活用する能力を養う。
③　授業の進め方・指示事項
講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。なお、正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。 日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、講義内容が変更となる場合がある。
④　関連科目・履修しておくべき科目
以後学習する、経営コース関連科目の基礎となる科目である。
⑤　テキスト（教科書）
一般社団法人日本経営協会(2023)『マネジメント検定試験公式テキスト（Ⅲ級）経営学の基本』中央経済社（購入時点における最新版を入手すること） また、講義では資料を配布する。
⑥　参考図書・指定図書

伊丹敬之・加護野忠男（2003）『ゼミナール経営学入門 第3版』日本経済新聞出版社
井原久光（2008）『テキスト経営学―基礎から最新の理論まで』ミネルヴァ書房
藤田誠（2015）『経営学入門（ベーシック＋）』中央経済社
神林憲雄・奥林康司・團泰雄ほか（2018）「経験から学ぶ経営学入門 第2版」有斐閣ブックス

⑦　評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安

（ⅰ）企業論を理解・説明することができる。
（ⅱ）経営戦略論を理解・説明することができる。
（ⅲ）機能別戦略を理解・説明することができる。
（ⅳ）人的資源管理論を理解・説明することができる。
（ⅴ）経営組織論を理解・説明することができる。

⑧　ルーブリック

評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ⅰ）企業論の理解・説明	企業論に関して、資料等に頼らず説明でき、講義内容を超えた学修成果を示している	企業論に関して、資料等に頼らず説明できる	企業論に関して、資料等を見ながら説明できる	企業論に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	企業論に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
（ⅱ）経営戦略論の理解・説明	経営戦略論に関して、資料等に頼らず説明でき、講義内容を超えた学修成果を示している	経営戦略論に関して、資料等に頼らず説明できる	経営戦略論に関して、資料等を見ながら説明できる	経営戦略論に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営戦略論に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
（ⅲ）機能別戦略の理解・説明	機能別戦略に関して、資料等に頼らず説明でき、講義内容を超えた学修成果を示している	機能別戦略に関して、資料等に頼らず説明できる	機能別戦略に関して、資料等を見ながら説明できる	機能別戦略に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	機能別戦略に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
（ⅳ）人的資源管理論の理解・説明	人的資源管理論に関して、資料等に頼らず説明でき、講義内容を超えた学修成果を示している	人的資源管理論に関して、資料等に頼らず説明できる	人的資源管理論に関して、資料等を見ながら説明できる	人的資源管理論に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	人的資源管理論に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

（ｖ）経営組織論の理解・説明	経営組織論に関して、資料等に頼らず説明でき、講義内容を超えた学修成果を示している	経営組織論に関して、資料等に頼らず説明できる	経営組織論に関して、資料等を見ながら説明できる	経営組織論に関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	経営組織論に関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		30%		10%		100%
（ｉ）企業論の理解・説明	12%		6%		2%		20%
（ii）経営戦略論の理解・説明	12%		6%		2%		20%
（iii）機能別戦略の理解・説明	12%		6%		2%		20%
（iv）人的資源管理論の理解・説明	12%		6%		2%		20%
（ｖ）経営組織論の理解・説明	12%		6%		2%		20%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方等について、具体的に説明するので、出席すること。						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生の理解度・適性を確認しながら、運営していく。

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス	講義の復習 テキスト p 19～23 の予習	180 分
2	株式会社とは	講義の復習 テキスト p 14～29（除 p19～23）の予習	180 分
3	起業プロセスと会社の種類	講義の復習 テキスト p 202～215 の予習	180 分
4	人と組織のマネジメント（雇用と賃金）	講義の復習 テキスト p249～254、262～267 の予習	180 分
5	科学的管理法、ホーソン実験と人間関係論	講義の復習 テキスト p 281～287、287～294 の予習	180 分

6	動機づけ理論、リーダーシップ論	講義の復習 テキストｐ216～226 の予習	180 分
7	企業組織の職能分化、基本的な組織形態	講義の復習 テキストｐ227～232、237～238 の予習	180 分
8	職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織	講義の復習 テキストｐ232～237、239～241 の予習	180 分
9	カンパニー制組織、持株会社組織、ネットワーク組織	講義の復習 テキストｐ300～306、35～38 の予習	180 分
10	組織文化論、大規模な株式会社における経営と所有	講義の復習 テキストｐ42～44 の予習	180 分
11	株主、株主総会、取締役、取締役会、監査役、代表取締役	講義の復習 テキストｐ39～41、44～49 の予習	180 分
12	取締役会の問題点 コーポレートガバナンスと機関設計	講義の復習 テキストｐ55～57、61～63 の予習	180 分
13	日本型経営の特徴① （日本的雇用慣行、意思決定プロセス）	講義の復習 テキストｐ58～61、64～65 の予習	180 分
14	日本型経営の特徴② （財閥・企業集団、メインバンク） 日本型経営の変化	講義の復習 中間試験に向けた学習	180 分
15	中間試験	中間試験の復習 テキストｐ30～33 の予習	180 分
16	中間試験のフィードバック ベンチャー企業とイノベーション、経営戦略	講義の復習 テキストｐ67～76 の予習	180 分
17	経営戦略の策定と企業全体の方向性	講義の復習 テキストｐ76～78、112～114 の予習 ＶＲＩＯ分析の予習	180 分
18	内部資源分析 （バリューチェーン分析、ＶＲＩＯ分析）	講義の復習 テキストｐ110～112、78～84 の予習、 ＰＥＳＴ分析の予習	180 分
19	外部環境分析（ファイブ・フォース分析、ＰＥＳＴ分析）、ＳＷＯＴ分析、ドメインの決定	講義の復習 テキストｐ85～92 の予習	180 分
20	成長戦略とアンゾフの成長ベクトル	講義の復習 テキストｐ92～94 の予習	180 分
21	Ｍ＆Ａとは	講義の復習 テキストｐ94～98 の予習	180 分
22	買収防衛策と企業連携	講義の復習 コトラーの競争地位戦略の予習 テキストｐ100～108、148～149 の予習	180 分
23	コトラーの競争地位戦略、 製品ライフサイクルとＰＰＭ	講義の復習 テキストｐ114～117 の予習	180 分

24	ポーターの競争戦略	講義の復習 テキストｐ130～145 の予習	180 分
25	マーケティングの変遷、ＳＴＰモデル マーケティングミックス	講義の復習 テキストｐ145～160 の予習	180 分
26	マーケティング戦略と４つのＣ	講義の復習 テキストｐ161～170 の予習	180 分
27	研究開発戦略と生産戦略	講義の復習 テキストｐ171～185 の予習	180 分
28	会計の目的としくみ、決算書、損益計算書	講義の復習 テキストｐ185～199 の予習	180 分
29	貸借対照表と財務分析	講義の復習 企業のライフサイクルの予習	180 分
30	企業のライフサイクル 講義のまとめ	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	180 分

⑫　アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。講義中に問・課題を与えることにより、インプット型のみならず、学生の知識のアウトプットも重視した講義とすることで、知識の定着を目指す。 前回講義で受けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
2003 年 3 月～2012 年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、業界動向等の調査分析・レポート作成業務に従事した。
実務経験と授業科目との関連性
様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、経営学の理論のみならず、優良企業を中心とした具体的な企業の事例紹介等を交えつつ、分かりやすく説明する。